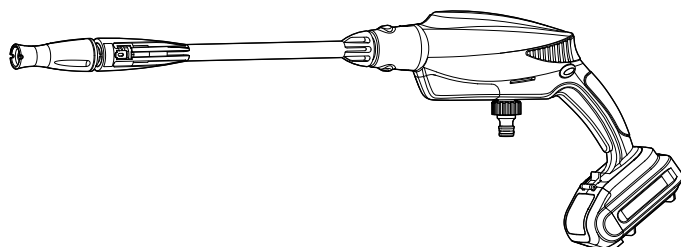


スマートコーシン

共通バッテリーシリーズ

家庭用



このたびは、本製品をお買い上げいただきありがとうございました。
ございました。

- ・ご使用の前に、この取扱説明書をよく読んで正しく安全にご使用ください。
- ・お読みになった後も保管してください。
- ・取扱説明書を理解していない人は、本機の操作を行わないでください。
- ・本機を他人に貸す場合は、取扱い方法をよく説明し、取扱説明書をよく読むように指導してください。

なお、保証書に購入店などの記載がない場合は、レシートなどを貼り付けておいてください。

取り扱いのポイント

- ・生産時に製品の作動テストを行うため、開梱したとき製品内に少量の水が残っていることがあります。

仕様変更などにより、本機のイラストや内容が一部実機と異なる場合がありますがご了承ください。

KOSHIN

SJC-1820/18N **18V Li-ion**

充電式洗浄機ガンタイプ 取扱説明書（保証書付）

用途

車、家まわりの洗浄

用途以外の目的に使用しないでください

目次

はじめに

各部の名称	2
パーツのご注文は	3
安全上のご注意	4

準備

ご使用になる前に	10
運搬する場合には	13
各部の接続	14

使用方法

洗浄をする	17
使用後は	19

保守・点検

「故障かな？」と思ったら（故障と処置）..	21
-----------------------	----

その他

主な仕様	23
保証書	裏表紙

はじめに

準備

使用方法

保守・点検

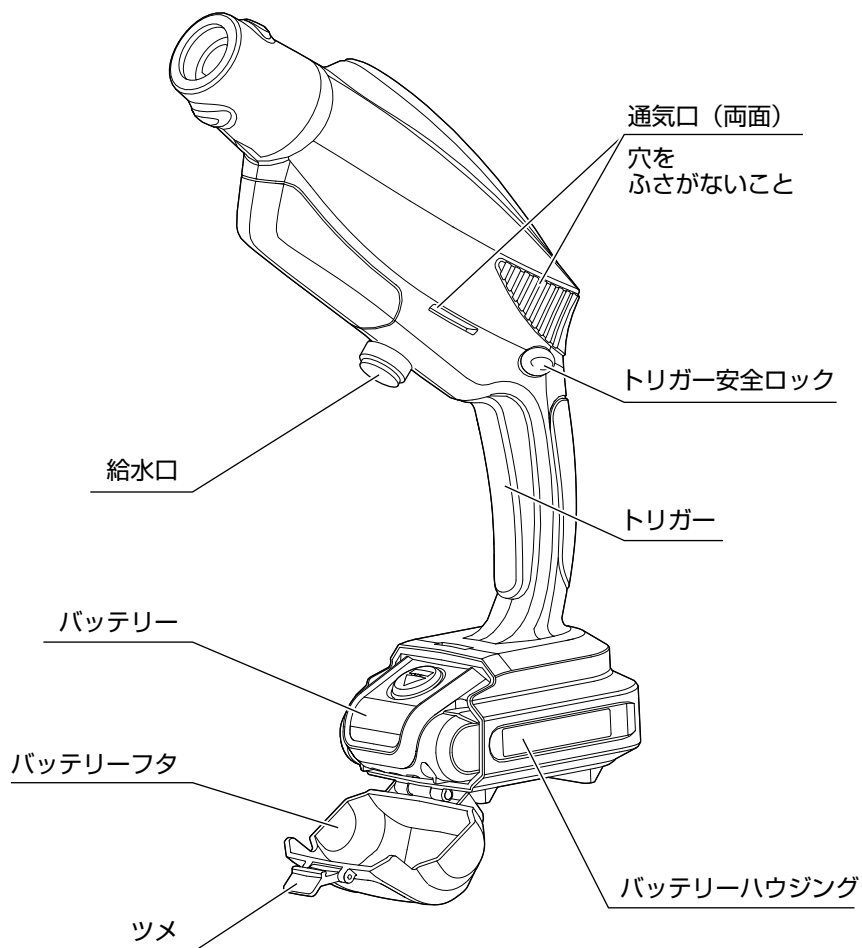
その他

株式会社 **工進**

20-10 059220503

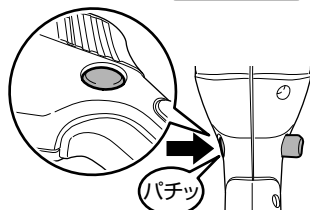
各部の名称

同梱されている付属品がすべてそろっているか確認してください。
特に記載の無いものは各1点です。



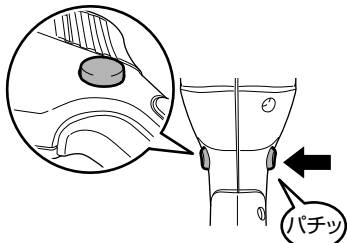
トリガー安全ロックについて

・ 左から押す → **ロック解除**

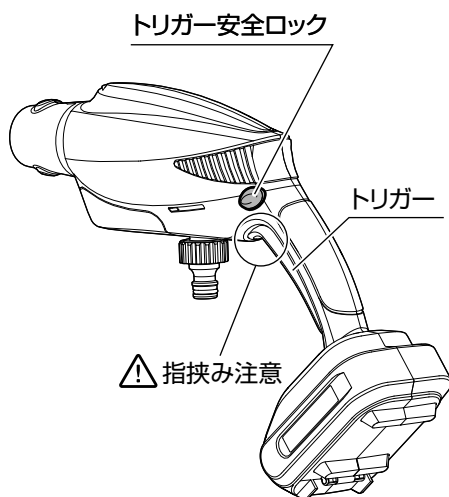


ロックボタンが引っ込み、トリガーをにぎれる (噴射できる) 状態

・ 右から押す → **ロック**



ロックボタンが出っ張り、トリガーをにぎれない (噴射できない) 状態



<標準付属品表>

名称・イラスト	
18V 2.0Ah バッテリー (PA-332) ★ SJC-1820 のみ	
18V 急速充電器 II (PA-430) ★ SJC-1820 のみ	
ロングランス	
ノズル	扇状ノズル
	回転ノズル
給水ホース (6m)	
カップリング (本体側) ※フィルター付きパッキン内蔵	
ストレーナー	
ノズルクリーニングピン	

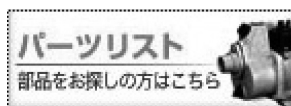
パーツのご注文は

パーツは、必ず指定のものをご使用ください。

パーツは購入店または弊社製品取扱店を通じてご注文いただけます。また、下記に記載の無いものも併せて、弊社公式 Web サイトにてパーツ表、価格をご覧ください。

ご注文時のお願い 部品番号（7～9桁）または機種名・JAN、名称、必要な個数を正しくお伝えください。

- パーツ表・価格
- 1) <http://www.koshin-ltd.co.jp>
 - 2) トップページ「パーツリスト」バナーをクリック



主なパーツ

どの機種にどのパーツが標準付属しているかは、前のページでご確認ください。

名称	機種名・JAN	備考
18V バッテリー (2.0Ah)	機種名 : PA-332 JAN : 4971770-560154	専用充電器 : PA-430, 333
18V バッテリー (2.5Ah)	機種名 : PA-380 JAN : 4971770-560192	専用充電器 : PA-430, 333
18V 急速充電器 II	機種名 : PA-430 JAN : 4971770-560727	—

はじめに

準備

使用方法

保守・点検

その他

安全上のご注意

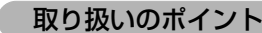
ご使用の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。ここに示した注意事項は、製品を正しくお使いいただき、ご使用になる方や他の人々への危険や損害を未然に防止するためのものです。

- 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危険や損害の程度を「危険」「警告」「注意」に区分し、説明しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

 危険	人が死亡、または重傷などを負う可能性が高いと考えられる内容です。
 警告	人が死亡、または重傷などを負う可能性が想定される内容です。
 注意	人が損傷を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容です。

- お守りいただく内容を区分して説明しています。

 してはいけない「禁止」の内容です。	 必ず守っていただく「実行」の内容です。
---	---

- その他の表示： 取り扱いのポイント …正しい操作のしかたや点検整備上のポイントを示してあります。

 **危険**

**メンテナンス時以外はノズル先端をのぞきこんだり、手や足をかざしたりしない**
高圧水を目に受けると失明、また手や足に受けるとケガをするおそれがあります。

 ペットや人に使用しない
死亡・ケガの原因になります。

 **警告**

**洗浄は自己責任で行う**
高圧洗浄により洗浄対象の塗装のはがれ／変色、損傷、破損などが起こったとき、または取説に記載の正しい操作方法を守らずケガをしたとき、当社では責任を負いません。

**取り付け後、各部を軽く引っ張り、確実に取り付いていることを確認する**
確実に取り付けしていないと使用中に各部が外れ、高圧水が噴出し、ケガの原因になります。

**本体に水をかけたり、雨中で使用したりしない**
ショート・感電の原因になります。

 体調や気分のすぐれない方や子どもに使わせたり、幼児の手の届く所で使用したりしない。
感電・ケガの原因になります。

**火気や暖房器具のそば、爆発物や可燃性のガスの近くで使用しない**
火災・事故・ケガの原因になります。

**噴射の方向に下記などが無いことを確認してから作業する**
・人や動物 ・壊れやすいもの ・不安定なもの ・通電している電気設備／機械本体 ・火気のあるもの ・高温の粉塵／塊
火災・ケガ・破損・事故の原因になります。

警告

- | | |
|--|---|
| <p> 噴射している水に手を当てない
高圧水が噴射しているため、ケガの原因になります。</p> <hr/> <p> 衣服または履物類の洗浄のために、ノズルを自分自身または他人に向けない
高圧水が噴射しているため、ケガの原因になります。</p> <hr/> <p> 対象物に損傷が生じるおそれのある場合は、ノズルから長めに距離をとるなど慎重に作業する</p> <hr/> <p> 発熱・発煙などの異常が発生した場合は、すみやかに使用を停止する</p> <hr/> <p> 雨上がりなど足元が滑りやすい場所、および傾斜地などの不安定な場所では使用しない
転倒してケガの原因となります。</p> <hr/> <p> 本機を雨ざらしにしない
感電によるケガ、焼損・発火による火災・本機の故障のおそれがあります。</p> <hr/> <p> 点検の際は、バッテリーを本機から取り外す
守らないと、本機が誤始動し、ケガの原因になります。</p> <hr/> <p> バッテリーを取り付ける際は、トリガー安全ロックを「ロック」にする
誤ってロック解除およびトリガーをにぎった状態でバッテリーを取り付けると、不意の始動により事故の原因になります。</p> <hr/> <p> 充電器の電源プラグに合っていない電源コンセントを使用しない
電源プラグを改造しない
守らないと、感電の原因になります。</p> | <p> 電源コードを持って充電器を運んだり、引っ張ったりしない
電源プラグを抜くために電源コードを引っ張らない
電源コードを熱、油、角のある所、動くものに近づけない
電源コードが損傷したり、絡まったりして感電の原因になります。</p> <hr/> <p> 可燃性の液体・ガス・粉じんのある所で使用しない
本機から発生する火花が発火や爆発の原因になります。</p> <hr/> <p> 修理技術者以外の方は、取説記載内容以外の分解や修理 / 改造は絶対に行わない
異常動作してケガをするおそれがあります。</p> <hr/> <p> 取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業する
注意不足が重大な事故の原因になります。</p> <hr/> <p> 次のときは本機を使用しない
事故の原因になります。
・疲れているとき、身体が不調のとき。
・酒類や薬を飲んで正常な運転操作ができないとき。
・夜間の使用や悪天候などで視界が悪いとき。</p> <hr/> <p> 本機、充電器、バッテリーに幼児・子供が触れないよう、隔離措置をして安全な場所で運転する</p> <hr/> <p> 子供には本機を貸さない
本機の取り扱いの知識が不十分な場合、事故の原因になります。</p> <hr/> <p> トリガー部分に指をかけて運ばない
不意に始動してケガの原因になります。</p> <hr/> <p> 使用しない本機は、安全に保管する
(20 ページ「保管」参照)</p> |
|--|---|

⚠ 注意

- | | |
|---|--|
| <p> 本機の使用中に通気口周辺および排気に手を触れない
守らないとヤケドの原因となります。</p> | <p> 無理な体勢で作業をしない
足元を安定させ、バランスを保つようにしてください。</p> |
| <p> 給水ホースは折らない
給水ホースを無理に引っ張らない
給水ホースに異常（深い傷、折れ曲がりなど）がある場合は使用しない</p> | <p> 本機を通った水を飲料水として使用しない
事故の原因となります。</p> |
| <p> 使用中に本体に物をかぶせない
故障の原因となります。</p> | <p> 誤ってぶついたりしたときは、本機などに破損や亀裂、変形がないことを点検する
破損や亀裂、変形があると、ケガの原因になります。</p> |
| <p> 本体に過度の衝撃を加えない
故障の原因となります。</p> | <p> 定期的に休息をとる
本機は機能上、使用時に振動が発生します。このため、長時間の連続使用は体に負担をかけることがあります。また、短時間であっても、ご使用中に指や手、腕、肩などに疲れを感じる場合があります。</p> |
| <p> ノズルなど付属品を付け替えるときはトリガー安全ロックをロック状態にする
事故・ケガの原因となります。</p> | <p> 使用前にネジのゆるみや欠落した部品などがないか確認する
不完全な本機を使用するとケガの原因になります。</p> |
| <p> 壊れやすいものや不安定なものには使用しない
対象が損傷する原因になります。</p> | <p> 充電器およびバッテリーの端子に手を触れない
感電のおそれがあります。また、充電器およびバッテリーが静電気により破損する可能性があります。</p> |
| <p> へこみやキズが目立つ塗装面には使用しない
塗装が剥離する原因になります。</p> | |
| <p> ガンのトリガーをひもや針金などで固定しない
固定したまま噴射してしまうと、急なときに噴射を停止できず、ケガの原因になります。</p> | |

取扱説明書で示す重要な安全指示事項は、起こりうるすべての状態を表しているものではありません。製品の安全性には十分気を配っておりますが、運転する方や保守をする方も安全に十分な注意・配慮をお願いします。

警告ラベルのメンテナンス

- ・ 本機には、警告ラベルが貼り付けされています。
- ・ 警告ラベルが見えにくくなった場合や、はがれた場合にはお買い上げの販売店に注文し、貼りかえてください。

騒音防止規制について

- ・ 騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制がありますので、ご近所などの周囲に迷惑をかけないようにご使用ください。

安全上のご注意

整備について

本機は、専門家による純正部品だけを用いた修理により安全性を維持することができます。修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やケガのおそれがあります。

- ・ 本機、充電器、バッテリーを分解、修理、改造はしないでください。発火や異常動作により、ケガをするおそれがあります。
- ・ 本機の発熱や異常に気づいたときは点検・修理に出してください。修理は、本誌裏表紙に記載の「工進修理受付窓口」へご相談ください。

その他の注意事項

- 1) 損傷した部品がないか点検してください。不具合を感じた場合は、すぐにバッテリーを取り外し、本誌裏表紙に記載の「工進修理受付窓口」へご相談ください。
- ・ 使用前に、部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。異常がある場合は、使用する前に修理を行ってください。
 - ・ 破損した部品の交換や修理は、取扱説明書に従ってください。取扱説明書に記載されていない場合は、本誌裏表紙に記載の「工進修理受付窓口」へご相談ください。
 - ・ 異常・故障時には、直ちに使用を中止してください。そのまま使用すると発煙・発火、感電、ケガの原因になります。

〈異常・故障例〉

- ・ 電源コードや電源プラグが異常に熱い。
- ・ 電源コードに深いキズなどの破損や変形がある。
- ・ 電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする。
- ・ 焦げくさい臭いがする。
- ・ ビリビリと電気をを感じる。
- ・ 電源を入れても動かない。

- 2) 正しい付属品やオプション品を使用してください。本誌および弊社カタログに記載されている付属品やアフターパーツ、オプションパーツ以外のものを使用すると、事故やケガの原因になります。

バッテリー・充電器について

⚠危険

■ ご使用上の注意

- ・ 水・海水などで濡らさないでください。異常な電流、電圧でバッテリーが充電され、発熱、破裂、発火の原因になります。
- ・ ストーブなどの熱源のそばに放置しないでください。発熱、破裂、発火の原因になります。
- ・ バッテリーは、本機および指定の充電器専用です。指定機器以外の用途に使用すると、異常な電流が流れ、バッテリーが破損する可能性があります。発熱、破裂、発火の原因になります。
- ・ バッテリーを分解したり、改造したりしないでください。バッテリーが発熱、破裂、発火する原因になります。
- ・ バッテリーをご使用の際は、つぎのことを必ず守ってください。
 - ・ バッテリーを火の中に投入したり、加熱したりしないこと。発熱、破裂、発火の原因になります。
 - ・ 強い衝撃を与えたり、改造したりしないこと。発熱および発火のおそれがあります。

■ 充電時の注意

- ・ 弊社指定の充電器・バッテリーを使用し、弊社指定の充電条件を守ってください。その他の充電条件（指定以外の温度、指定以外の高い電圧／大きな電流、または改造した充電器など）で充電しますと、発熱、破裂、発火の原因になります。
- ・ 火のそばや、炎天下駐車の中などでの充電はしないでください。高温になると充電出来なくなったり、異常な電流や電圧で充電されたりして、発熱、破裂、発火の原因になります。

安全上のご注意

⚠ 警告

■ ご使用上の注意

- ・電子レンジや高圧容器に入れないでください。急に加熱されたり、密閉状態が壊れたりして発熱、破裂、発火の原因になります。
- ・バッテリーの使用、充電、保管時の異臭、発熱、変色、変形、その他、今までと異なることに気がついた時は、本機あるいは充電器より取り出し、使用しないでください。バッテリーが発熱、破裂、発火する原因になります。
- ・バッテリーが漏液したり異臭がしたりする時には直ちに火気より遠ざけてください。漏液した電解液に引火し、破裂、発火する原因になります。
- ・バッテリーが漏液して液が目に入った時は、こすらずに水道水などのきれいな水で十分洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。放置すると液により、目に障害を与える原因になります。
- ・バッテリーを運ぶときは収納するケースの中のバッテリーが動かないようにしっかりと梱包してください。破損や金属端子のショートの原因になるおそれがあります。
- ・本機や電源コードの接続部、充電端子部に金属類をさし込まないでください。発煙、発熱、発火し、感電、やけどの原因になるおそれがあります。
- ・コンセントや配線器具の定格を超える使い方をしないでください。発火の原因となります。
- ・ぬれた手で充電器の電源プラグの抜き差しをしないでください。また電源プラグは根元まで確実にさし込んでください。感電や発火の原因となります。

■ 取扱いについて

- ・充電器の電源プラグのほこり等は定期的に取り除いてください。ほこり等がたまるとショートして発火の原因となります。
- ・充電器の電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、コードの上に物を載せないでください。電源コードが破損やショートするなどで、発煙、発熱、発火し、感電、やけどの原因となります。

⚠ 警告

- ・本機、バッテリー、充電器は、乳幼児・子供の手の届かないところに置いてください。不用意な取扱いをすると危険が伴います。

■ 充電時の注意

- ・充電時、所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を停止してください。バッテリーが発熱、破裂、発火する原因になるおそれがあります。
- ・この充電器はリチウムイオンバッテリー専用です。バッテリーを充電する以外の用途には使用しないでください。充電器が発煙、発熱、発火し、感電、やけどの原因になるおそれがあります。
- ・必ず指定された電源を使用してください。他の電源で使用すると、充電器に過大電圧が加わったり過大電流が流れたり、バッテリーの漏液、発熱、破裂、発火や、本体が発煙、発熱、発火し、感電、やけどの原因となります。

⚠ 注意

■ 充電時の注意

- ・バッテリーの充電中に、可燃物を上に載せたり、覆ったりしないでください。バッテリーを発熱、破裂、発火させるおそれがあります。

■ 取扱いについて

- ・バッテリーが漏液して液が皮膚や衣服に付着した場合には、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。皮膚がかぶれたりする原因になるおそれがあります。
- ・直射日光の当たる場所、炎天下駐車の内車など、高い温度になる場所に放置しないでください。バッテリーを漏液させる原因になるおそれがあります。
- ・バッテリー端子に手や金属製工具などで触れないでください。静電気によりバッテリーが破損するおそれがあります。
- ・充電器の電源プラグを抜くときは、必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。電源コードを持って電源プラグを抜くと、コードがショートし発火や感電の原因になるおそれがあります。

安全上のご注意

⚠ 注意

■ 取扱いについて

- ・ 湿気やほこりの多い場所では使用または保管しないでください。発煙、発熱、発火し、感電、やけどの原因になるおそれがあります。
- ・ 使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜いてください。絶縁劣化による漏電、発火、感電の原因になるおそれがあります。
- ・ 電源プラグや充電端子部に、金属製のピンやごみを付着させないでください。ショートによって発煙、発熱、発火し、感電、やけどの原因になるおそれがあります。
- ・ 充電器が異常と思われたときには、ただちに電源プラグをコンセントから抜いてください。発煙、発熱、発火し、感電、やけどの原因になるおそれがあります。
- ・ 充電器の上に物を載せたり、落下しやすいところに置いたりしないでください。充電器が外部の力や衝撃で内部回路が破損し、使用時に発煙、発熱、発火し、感電、やけどの原因になるおそれがあります。

取り扱いのポイント

- ・ 取扱説明書に記載している充電時間以上の長時間の充電をしないでください。
- ・ バッテリーを長期間使用しない場合は、機器から外して湿気の少ないところに保管してください。機器に接続したままや湿気の多いところに保管しないでください。
- ・ 使用後は必ず本機のスイッチを切ってください。また、充電完了後は、充電器からコンセントを抜いてください。
- ・ 長期間で使用にならなかったバッテリーは十分に充電されないことがあります。バッテリーは長期間使用しない場合でも、1年に1度は満充電にしてください。
- ・ バッテリー端子が汚れたら乾いた布で拭き、端子をきれいにしてからご使用ください。機器との接触が悪いと、電源が切れたり充電されなくなったりすることがあります。
- ・ バッテリーからの異臭や液漏れがないかを定期的に確認してください。

■ バッテリーの寿命について

- ・ バッテリーには寿命があります。機器の使用時間が短くなった時は、新しいバッテリーとお取り替えてください。

■ 延長コードについて

延長コードを使用する時は、十分な太さのコードをできるだけ短くお使いください。

〈使用できる延長コードの太さ(導体公称断面積)と長さの目安〉

コードの太さ (導体公称断面積)	コードの長さの目安
2.0mm ²	30m まで

はじめに

準備

使用方法

保守・点検

その他

ご使用になる前に

充電について

お買い上げ時や長期間充電しなかった場合は、ご使用前に満充電になるまで正しく充電してください。

⚠ 警告



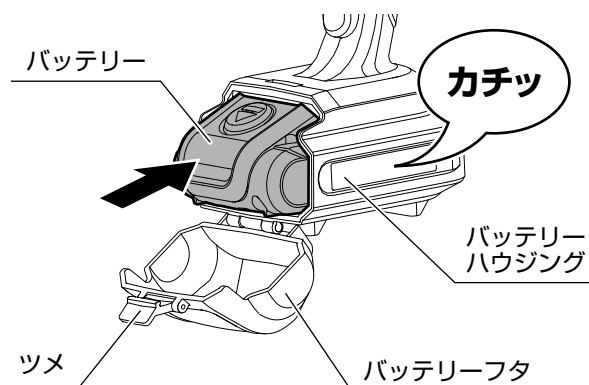
バッテリーは本機に確実に取り付ける
取り付けが不十分な場合、外れて事故の原因になります。

取り扱いのポイント

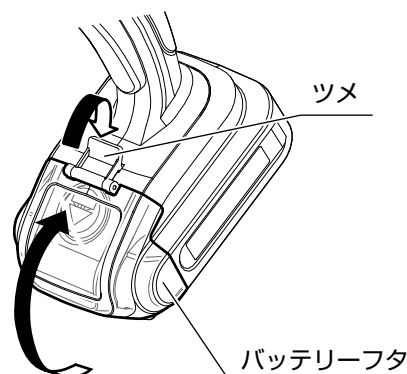
- ・バッテリーの温度が適切でないと充電ができないことがあります。バッテリーが高温の場合は、風通しの良い日陰などに置いて一旦冷ましてください。
- ・充電中にバッテリーや充電器が温かくなりますが、異常ではありません。

バッテリーの取り付け方

- 1) バッテリーフタのツメを外し、バッテリーをカチッと音がするまで押し込む。



- 2) バッテリーフタを閉めてツメをかける。



⚠ 警告



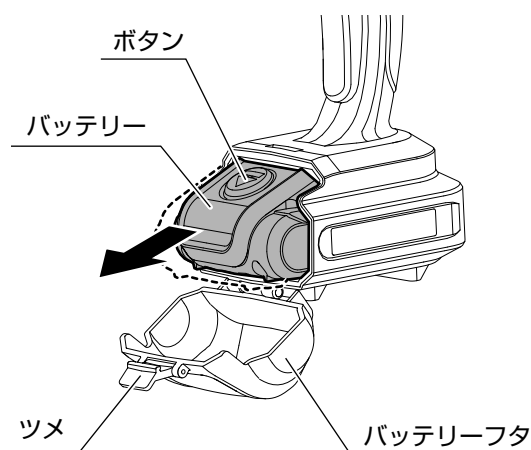
バッテリー取り付け後は必ずバッテリーフタを閉めてツメをかける

バッテリーが水にぬれると発熱、破裂、発火の原因となります。

バッテリーの取り外し方

- 1) バッテリーフタのツメを外し、バッテリーフタを開ける。
- 2) バッテリーのボタンを押し、バッテリーを取り外す。

バッテリーがバネの力で軽く飛び出します。



- 3) バッテリーフタを閉めてツメをかける。

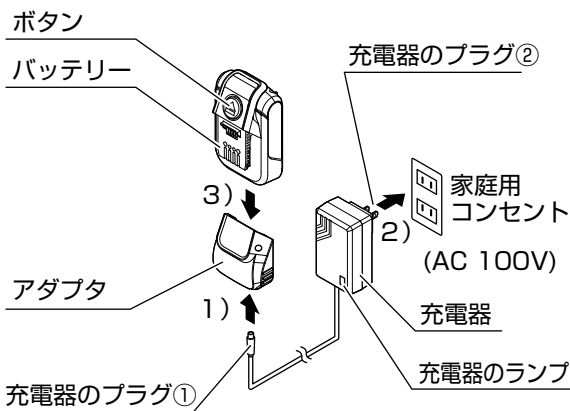
ご使用になる前に

充電のしかた

- 1) 充電器のプラグ①をアダプタにさし込む。
- 2) 充電器のプラグ②をコンセントにさし込む。
- 3) バッテリーをアダプタにさし込む。

下の表のように充電器または、バッテリーのランプが点灯し、状態をお知らせします。ランプが切り替わるタイミングは実際の状態と数秒ずれる場合があります。

- 4) 充電が完了したら、ボタンを押しながらバッテリーをアダプターから取り外す
- 5) コンセントから充電器のプラグ②を抜く。

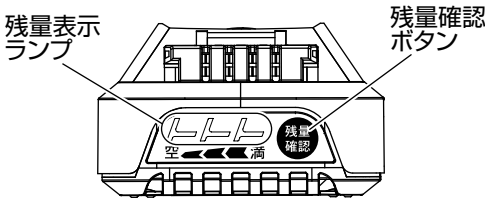


＜バッテリーを充電器にさし込んだときのランプの見かた＞

充電器	状態	処置 / 備考
ランプ ☐ 点灯 ☒ 消灯		
☒ 緑点灯	満充電（下表を参考にバッテリーの残量確認ボタンを押すと確認できます）	バッテリーが高温だと満充電であっても本機が動かない場合があります
	バッテリーがさし込まれていない	バッテリーをしっかりさし込む
	バッテリーの温度異常（考えられる原因：使用直後や、暑い自動車内に保管したとき）	高温の場合はバッテリーが冷めるよう風通しの良い日陰などに置く
☒ 赤点灯	充電中	充電を続ける
☒ 消灯	充電器の破損（考えられる原因：落下、水漏れ、端子に金属などが接触など）	本誌裏表紙に記載の「工進修理受付窓口」へご相談ください。
☒ 赤 / ☒ 緑交互に点滅	バッテリー過放電、故障	

＜バッテリーの残量確認ボタンを押したときのランプの見かた＞

バッテリーの残量確認ボタンを押すと、バッテリー残量に応じてランプが光ります。ランプはボタンを押している間だけ光ります。



バッテリー	状態	処置 / 備考
残量表示ランプ ☒ 点灯 ☒ 消灯		
☒ ☒ ☒ 2～3点灯	バッテリー使用可能	バッテリーが高温だと満充電であっても本機が動かない場合があります
☒ ☒ 1点灯	バッテリー残量少なめ	充電する
☒ ☒ 消灯	バッテリー使用不可 バッテリー、充電器の破損（考えられる原因：落下、水漏れ、端子に金属などが接触など）	本誌裏表紙に記載の「工進修理受付窓口」へご相談ください。

ご使用になる前に

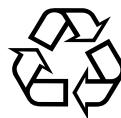
バッテリーを長持ちさせるには

- ・本機の力が弱くなってきたと感じたら使用を中止し、充電してください。
- ・満充電したバッテリーを再度充電しないでください。
- ・充電は使用環境温度 5 ～ 40℃ の範囲で行ってください。
- ・長期間で使用にならない場合、バッテリーは充電してから保管することをおすすめします。

バッテリーの回収について

使用済みバッテリーはリサイクルのため回収しています※。本誌裏表紙に記載の「お客様相談窓口」までお問い合わせください。

※工進商品のバッテリーに限ります



リチウムイオンバッテリーは
リサイクルへ

Li-ion

⚠ 注意



本機および充電器を廃棄するとき、バッテリーを取り付けたまま一般家庭ゴミとして廃棄しない

バッテリーの寿命について



バッテリー・
充電器の
豆知識

- ・バッテリーは充放電を繰り返すと次第に容量が少なくなり、バッテリーの交換が必要になります。これはバッテリーの特性によるものであり、故障ではありません。満充電後も作業できる時間が短くなるようであれば、バッテリーを交換してください。
- ・リチウムイオンバッテリーは、メモリー効果（継ぎ足し充電を繰り返すと、バッテリー残量が見かけ上、低下する現象）がないため、タイミングを気にすることなく、いつでも継ぎ足し充電ができます。
- ・寒い環境ではバッテリーの容量が少なくなり、作業時間が短くなることがあります。暖くなる（バッテリーが適温になる）と回復します。
- ・バッテリーは使用しなくても自然に放電します。自然に放電した分は、使用前に充電すれば回復します。

運搬する場合には

本機を車両などで運搬する場合には、以下を必ず守ってください。

1) バッテリーを取り外す。

バッテリーを取り付けたまま運搬すると、本機が不意に作動したり、バッテリーの破損や金属端子がショートしたりする原因となります。

取り外したバッテリーおよび本機、充電器の取り扱いは以下を守ってください。

危険



強い衝撃を与えない

水にぬらさない

炎天下の車中など高温になるところ、火気のそば、直射日光の当たるところに長時間放置しない

警告



ボルト、針金、金属工具などがバッテリーおよび本機、充電器に触れないようにする

一緒に持ち運ぶなどするとバッテリーがショートし、発熱、破裂、発火のおそれがあります。



バッテリーが漏液して液が目に入ったり、皮膚や衣服に付いたりしたときは、ただちにきれいな水で洗い流して医師の治療を受ける

2) バッテリーおよび本機、充電器が落下、転倒、破損などしないような場所を選んで積載する。

警告

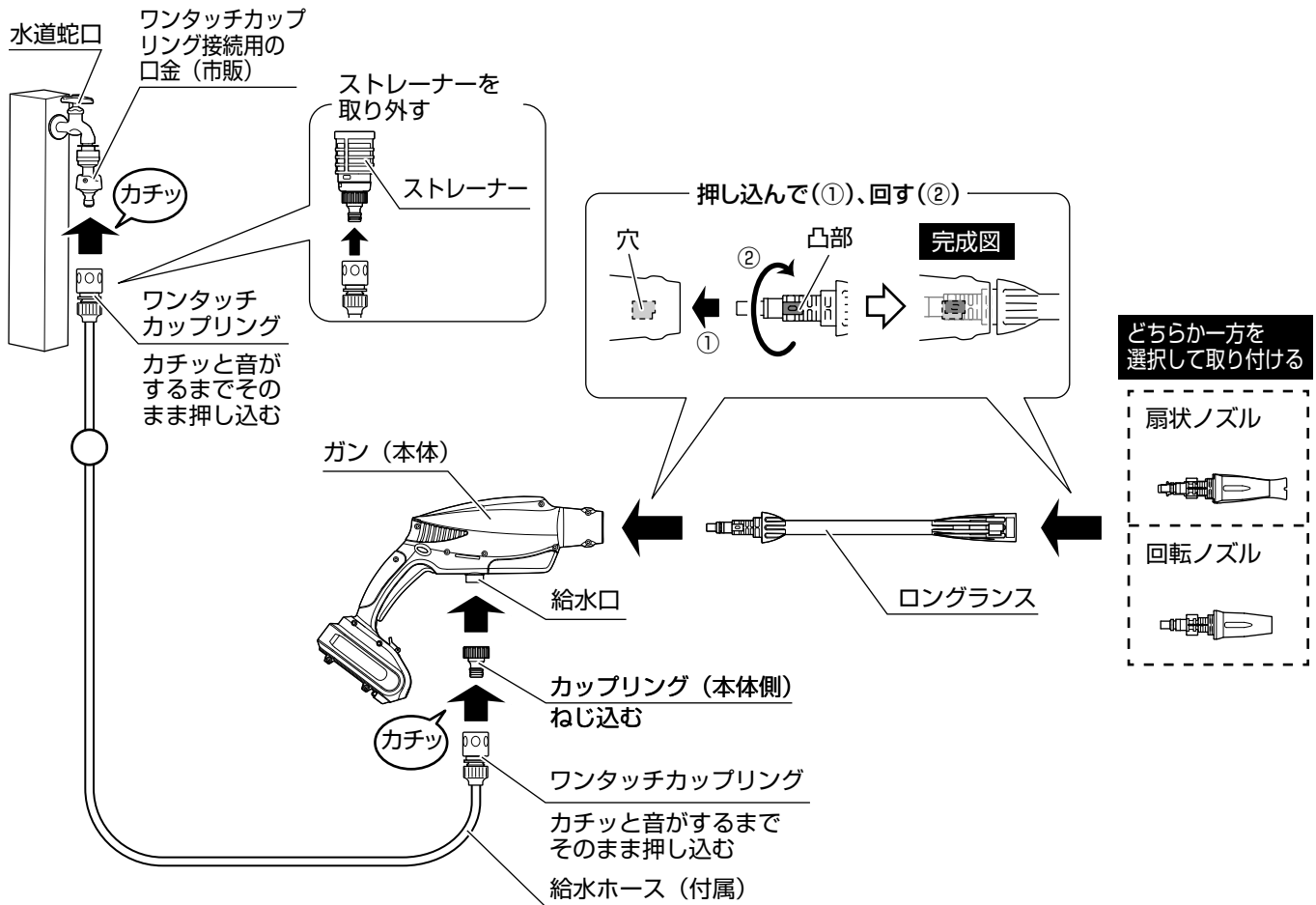


本機を車に積んだまま長時間悪路を走行しない

本機が転倒し、思わぬ事故の原因となります。

各部の接続

水道蛇口を使用する場合

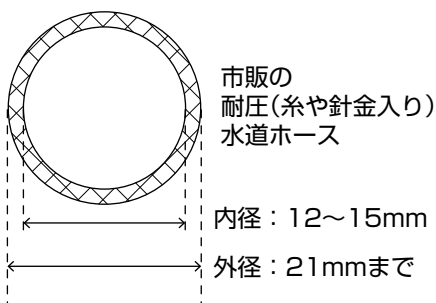


1) 以下を用意し、上図を参考に各部を接続する。

- ・ 付属の給水ホース
- ・ ワンタッチカップリング接続用の口金 (市販)
- ・ (必要な場合) 市販の口金、ホースリール (耐圧)

取り扱いのポイント

- ・ 付属の給水ホースの代わりには以下がご使用いただけます。
- ・ 市販の水道ホース (下図参照)
- ・ 上記水道ホースにあったワンタッチカップリング+接続用の口金、またはホースバンド。
ホースバンドの場合は、ネジを留めるためのドライバーをご用意ください。



2) 本体は以下のような場所で使用する。

- ・ 万が一ぬれても良い場所
- ・ 洗浄水がかからない場所 (跳ね返りに注意)

警告

- ❗ ホースなど、各部が破損していないことを確認する
- ❗ 給水ホースを敷砂利など、でこぼこした地面の上にはわせるときは、ホースを傷つけないようゆっくり動かす
- ❗ 給水ホースは折れないよう、まっすぐに伸ばす
- ❗ 取り付け後、各部を軽く引っ張り、確実に取り付けられていることを確認する
確実に取り付けしていないと使用中に各部が外れ、高圧水が噴出し、ケガの原因になります。

各部の接続

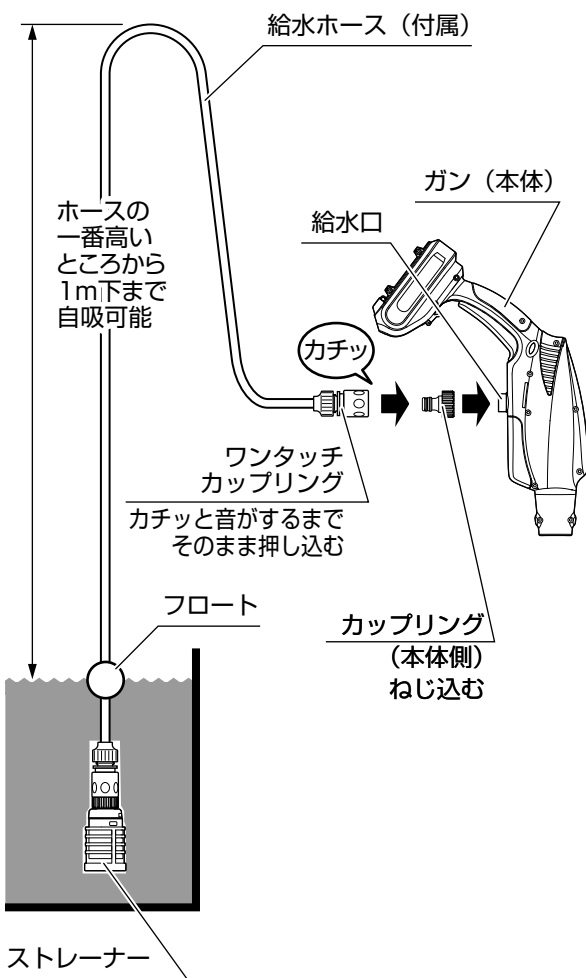
ためた清水を使用する場合

1) 以下を用意する。

- ・ 付属の給水ホース、または市販の水道ホースなど（前ページ参照）
- ・ 水道水
- ・ 水をためる容器
- ・ （必要な場合）市販のホースリール（耐圧）

2) 本体を以下のように設置する。

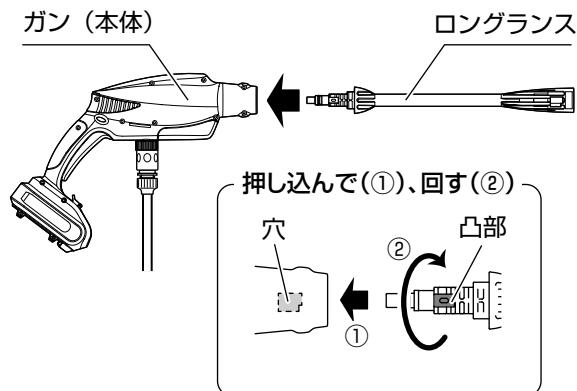
- ・ 万が一ぬれても良い場所
- ・ 洗浄水がかからない場所（跳ね返りに注意）



ストレーナーが水中にしっかり沈んでいることを確認してください。

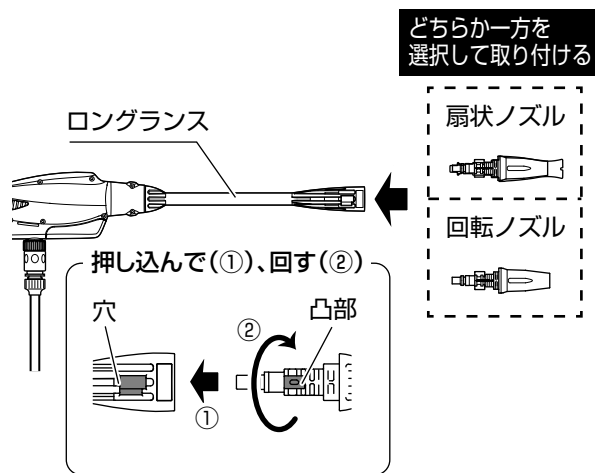
3) ガンにロングランスを接続する。

（前ページ「水道蛇口を使用する場合」参考）



4) ロングランスにノズルを接続する。

（前ページ「水道蛇口を使用する場合」参考）



警告

- ❗ 取り付け後、各部を軽く引っ張り、確実に取り付けられていることを確認する
確実に取り付けしていないと使用中に各部が外れ、高圧水が噴出し、ケガの原因になります。

はじめに

準備

使用方法

保守・点検

その他

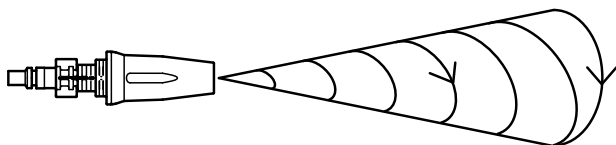
各部の接続

ノズルについて

- ・ 扇状ノズル：
広い範囲を洗浄することができます（噴射範囲の変更はできません）



- ・ 回転ノズル：
水が回転しながら噴射されるため、洗浄効率がアップします。



⚠ 警告



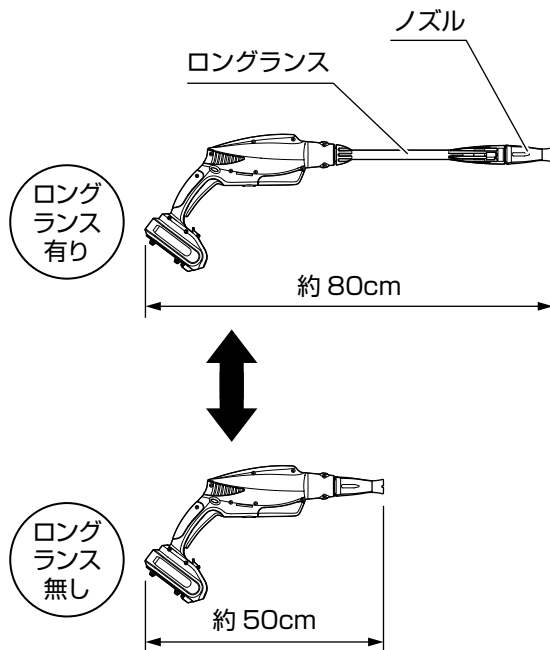
洗浄は慎重に行う

回転ノズルは強力です。洗浄対象が目立たないところで洗浄を試し、洗浄対象の破損、塗装のはがれなどの問題がないことを確認してから本格的に洗浄作業を始めてください。

ノズルガンの長さの調節

ロングランスを取り付け／取り外しすることで、ノズルガンの長さを二通りに変えることができます。

- ・ ロングランス有り：高いところや低いところの洗浄に
- ・ ロングランス無し：せまいところの洗浄に



洗浄をする

前項「各部の接続」の「水道蛇口を使用する場合」または「ためた水道水を使用する場合」のいずれかを行ってから、以下を行ってください。

洗浄作業をする

⚠ 危険



ノズル先端をのぞきこんだり、手や足を
かざしたりしない

高圧水を目に受けると失明、また手や足に受ける
とケガをするおそれがあります。



ペットや人に使用しない

死亡・ケガの原因になります。



広範囲に水が飛び散るため、保護めがね、
ゴム手袋や、ぬれても良い服など作業に
適した服装で作業を行う

1) 水道蛇口から給水する場合、水道蛇口を開く。

水もれや、蛇口の開きすぎによる異常な振動がないか
確認してください。

2) 下記を確認する。

- ・ 噴射の方向に人、動物、壊れやすいもの、不安定な
もの、通電している電気設備・機械本体がないか
- ・ 給水ホースが折れ曲がったり、つぶれたりしていな
いか

3) バッテリーフタが閉まり、ツメがかかっている ことを確認する。



⚠ 警告



バッテリー取り付け後は必ずバッテ
リーフタを閉めてツメをかける

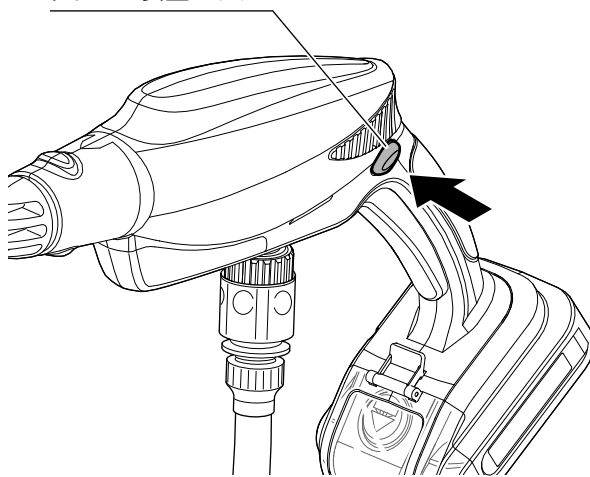
バッテリーが水にぬれると発熱、破裂、発
火の原因となります。

なお使用中、バッテリーフタが結露により
くもることがありますが、使用には差し支
えありません。

4) トリガー安全ロックを「ロック解除」状態にする。

ロック解除

トリガー安全ロック



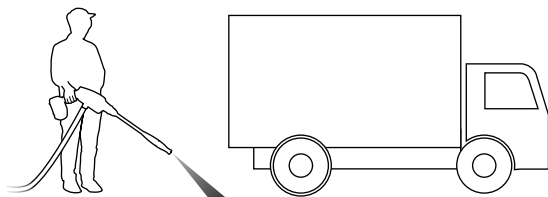
5) ガンを両手でしっかりと持ち、ノズル先端を地 面に向け、トリガーをにぎって噴射する。

⚠ 警告



噴射している水に手を当てることは絶
対しない

高圧水が噴射しているため、ケガの原因に
なります。



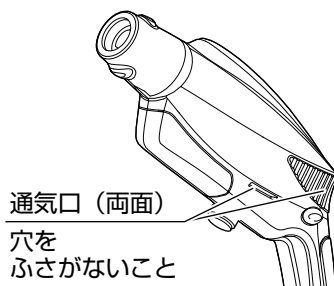
噴射直後はホースの中に空気がたまっているため、水
は徐々に出てきます。トリガーをにぎって 30 秒ぐら
いで水が安定して噴射します。

⚠ 注意



使用中は通気口を手や衣服でふさがな
い

守らないとヤケドする、または本機が故障
する原因となります。



はじめに

準備

使用方法

保守・点検

その他

洗浄をする

6) 洗浄対象からノズル先端までの距離を確認する。

最初は約 30cm の距離にしてください。

⚠ 警告



車を洗浄するときは洗浄対象からノズル先端までの距離を長めにとる

距離が近すぎるとタイヤ、タイヤバルブ、ボディなどを損傷したり、塗装がはがれたりする可能性があります。



車の足まわりなどの洗浄時は、グリス塗布部分に直接噴射しない

7) 洗浄対象の目立たないところで洗浄を試し、問題がないことを確認する。

噴射水は一定の箇所に当てず、ノズルを上下または前後左右に動かして洗浄作業を行ってください。

⚠ 警告



洗浄は少しずつ試す

本機の高圧洗浄は強力です（特に回転ノズルを使用した場合）。洗浄対象の目立たないところで洗浄を試し、洗浄対象の破損、塗装のはがれなど問題がないことを確認してから本格的に洗浄作業を始めてください。

8) 洗浄作業を行う。

洗浄対象からノズル先端までの距離は約 30 ～ 10cm を目安にしてください。

洗浄作業を一時中断または停止する

⚠ 警告



必ず以下の手順を行う

高圧がかかったまま本機を放置すると、不用意に高圧水が噴射するなどして事故の原因となります。

1) 水道蛇口を閉める、またはため水からホースを出す。

水の供給を止めます。

2) トリガーを約 10 秒にぎり、噴射する。

噴射が徐々に弱まり、本機から圧力が抜けたことを確認してください。

3) トリガー安全ロックを「ロック」状態にする。

洗剤を使用するときは

容器にためた水を使用する場合（15 ページ参照）、水の中に中性洗剤を溶かすことで洗剤を使用して洗浄を行うことができます。

洗剤を使用するときは溶かす割合（希釈倍率）を守り、また使用後は水道水のみを使用したときよりも念入りに本機を洗浄してください。

1) 市販の中性洗剤を以下の通り希釈する。

- そのまま使用するタイプの中性洗剤：

希釈倍率 = 10 倍以上

溶かす例) 水道水 9 (以上) : 中性洗剤 1

- カーシャンプー：

製品の指示どおりの希釈倍率

- 濃縮タイプの中性洗剤：

製品の指示通りに希釈したあと、さらに 10 倍以上

取り扱いのポイント

- 希釈の割合が正しくない（洗剤が濃い）と目づまりなど故障の原因となります。

2) 洗剤を使用したあとは、洗剤を使用した時間と同じぶんだけ、洗剤を含まない水道水を使用し

て噴射を行う。

取り扱いのポイント

- 洗剤を使用したあとは必ず洗剤を含まない水道水を噴射し、本機内の洗剤を洗い流してください。洗剤が本機内に残ると故障の原因となります。

使用後は

使用後の手入れ

⚠ 警告

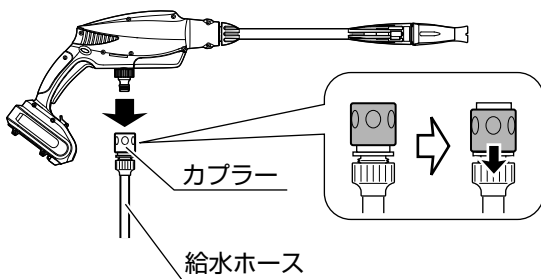


18 ページ「洗浄作業を一時中断または停止する」を行ってから、以下の内容を行う

守らないと、給水ホースを外したとき水が噴き出します。

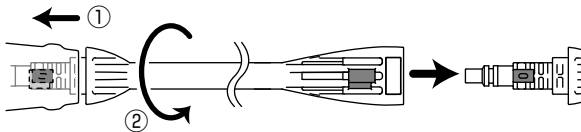
1) 給水ホースのカプラーを手前に引きながら接続部を引き抜く。

圧力がかかる部分のため、安全のため取り外しに力が必要です。

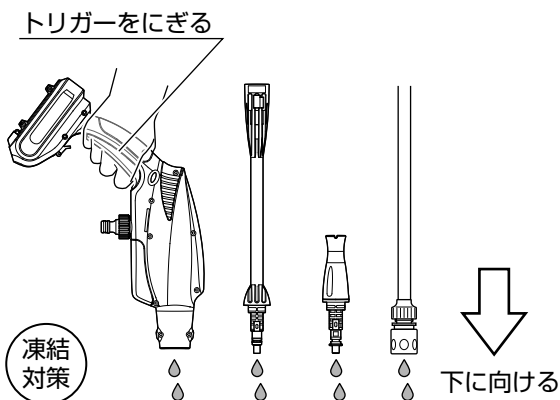


2) 本体からノズル、ロングランスを取り外す。

ノズルまたはロングランスを押し込みながら、取り付けのときとは逆周りに回して引き抜いてください。

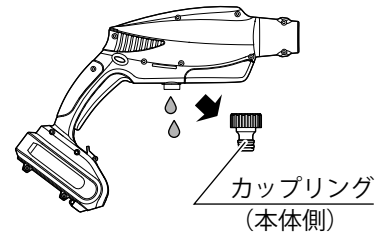


3) ホース、ガン、ロングランス、ノズルに残っている水を抜く。



4) カップリング（本体側）を外し、本体を傾け、内部の水を出す。

凍結対策

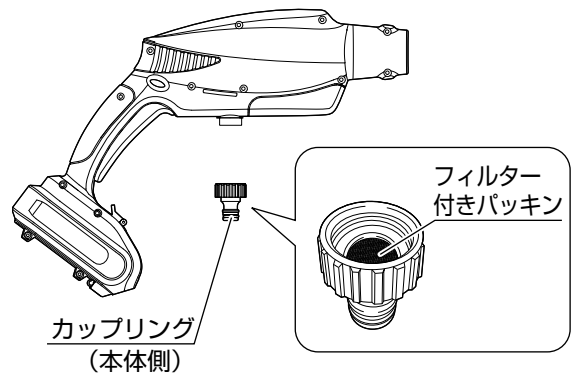


取り扱いのポイント

- ・ 3)～4)の「凍結対策」と書いてある項目（水抜き）を行わないと、凍結したときにホース類やポンプが破損することがあります。凍結による破損は保証の対象外です。特に長期保管前は念入りに行ってください。
- ・ 本体に水が通らない（空運転）状態で、1分以上運転を続けしないでください。故障の原因となります。空運転による故障は保証の対象外です。

5) カップリング（本体側）を水洗いする。

内側にフィルター付きパッキンが入っています。無くさないようにしてください。



6) トリガー安全ロックを「ロック」状態にする。

7) 本体からバッテリーを取り外し、バッテリーフタを閉じツメをかける。

バッテリーを充電器で満充電にする。

洗浄作業終了直後はバッテリーが通常使用により熱くなっているため、充電ができない場合があります。そのときはバッテリーを少し冷ましてください（水にぬらさないでください）。

はじめに

準備

使用方法

保守・点検

その他

使用後は

警告



バッテリーは必ず取り外す
守らないと思われ事故の原因となります。



バッテリー、充電器はぬらさない
発火または故障のおそれがあります。

8) ノズルクリーニングピンでノズルを清掃する。

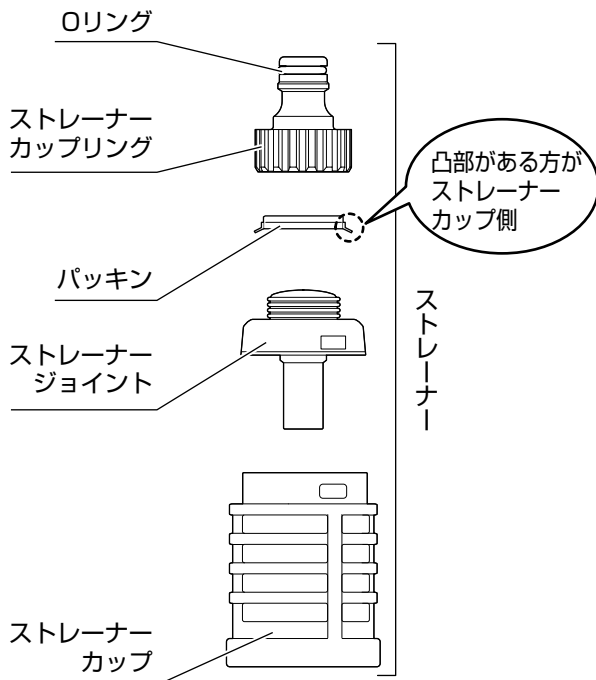
清掃をしないと水道水に含まれているミネラルが固まり目詰まりします。目詰まりしたノズルをそのまま使用すると本機の故障の原因となります。

ノズルクリーニングピン



9) ストレーナーを使用した場合は分解し、清掃をする。

清掃後は各部品の向きを間違えないように元通り取り付けてください。



10) 乾いた布で拭くなどして、全体を乾かす。

以下は特に念入りに行ってください。

- ・ 金属部…使用後すぐに布で拭くなどして乾かす
- ・ カップリング（本体側）…中のフィルター付きパッキンもしっかりと乾かす

取り扱いのポイント

- ・ ベンジン、シンナー、アルコールなどは変色、変形、ひび割れの原因になるため使用しないでください。

保管

バッテリーパックは充電器および本機から取り外して保管する。

カップリング（本体側）など各接続部にゴミが入らないよう、ラップで保護するなどする。

本機、バッテリー、充電器ともに下記のような場所を避けて保管する。

- ・ 乳幼児、子供の手の届く所や簡単に持ち出せる所
- ・ 熱源のそばや、真夏の閉め切った自動車内など高温になる所
- ・ 湿気の多い所
- ・ 温度や湿度の急変する所
- ・ 直射日光の当たる所
- ・ 揮発性物質の置いてある所

長期保管のときは

バッテリー保護のため、バッテリーを満充電にしてから保管してください。また、その後も1年に1回は満充電にしてください。

「故障かな？」と思ったら（故障と処置）

ご自分で分解・修理は絶対にしないでください。点検・修理は本誌裏表紙に記載の「工進修理受付窓口」へご依頼ください。

★：お問合せの多い項目

★各種ランプの見かた	充電器およびバッテリー	11 ページ
------------	-------------	--------

トラブルの症状	考えられる原因	対策	参照ページ数
充電ができない：充電器のランプが、緑点灯から赤点灯に切り替わらない	★本機またはバッテリーの温度が高い（使用状況、または炎天下の自動車内に保管したことなどによる）	本機またはバッテリーを風通しの良い日陰に置くなどして冷ます（水にぬらさない）。	11
	バッテリーが充電器の奥までしっかりさし込まれていない	奥までしっかりさし込む。	11
充電ができない：充電器のランプが消灯のまま	充電器の電源プラグが奥までしっかりさし込まれていない	奥までしっかりさし込む。	11
	バッテリーまたは充電器が破損している ※	お客様では修理せずに、本誌裏表紙に記載の「工進修理受付窓口」へ点検をご依頼ください。	11
充電ができない：充電器のランプが赤／緑交互に点滅	バッテリー過放電、故障	本誌裏表紙に記載の「工進修理受付窓口」へ点検をご依頼ください。	11
充電に時間がかかる	バッテリーの温度が低い	バッテリー温度が低いと充電しにくいことがあるため、充電は使用環境温度が5～40℃の範囲で行う。（推奨：10～30℃）	12
	バッテリー残量がとても少ない	そのまま充電を続ける。	—
満充電してもバッテリー残量がいつもより早くなる	気温が低く、バッテリーの温度が低すぎる	バッテリーを使用環境温度が5～40℃の室内にしばらく放置する。（推奨：10～30℃）	12
	充放電を繰り返し、バッテリーが劣化した	新しいバッテリーに交換する（バッテリーの寿命）。	
トリガーをにぎってもポンプが動かない（本機が動かない）	バッテリー残量が少ない	充電を行う。	11
	バッテリーが接続されていない	バッテリーを接続あるいは奥までさし込む。	—
	★本機またはバッテリーの温度が高い（使用状況、または炎天下の自動車内に保管したことなどによる）	本機またはバッテリーを風通しの良い日陰に置くなどして冷ます（水にぬらさない）。	
	トリガーをにぎれない（トリガー安全ロックが「ロック」状態になっている）	トリガー安全ロックを「ロック解除」状態にする。	2
	充放電を繰り返し、バッテリーが劣化した	新しいバッテリーに交換する（バッテリーの寿命）。	12
	部品（モーター、スイッチなど）が故障している	お客様では修理せずに、本誌裏表紙に記載の「工進修理受付窓口」へ点検をご依頼ください。	—

※ 破損の原因になる例

炎天下の自動車内など、著しい高温または低温にさらした / 金属などが端子にふれた / 水または火、揮発性の物質などにふれた / 落下による衝撃 / 液もれなど。

「故障かな？」と思ったら（故障と処置）

ご自分で分解・修理は絶対にしないでください。点検・修理は本誌裏表紙に記載の「工進修理受付窓口」へご依頼ください。

★：お問合せの多い項目

トラブルの症状	考えられる原因	対策	参照ページ数
トリガーをにぎってもガンから水が出ないが、モーター音はしている（ポンプは動いている）	水道蛇口から給水するとき： 水道蛇口が開かれていないか、開き足りない（給水量が少ない）	水道蛇口を徐々に開く。 ただし、開きすぎると給水ホースや本体に異常な振動が発生し、故障の原因となります。様子を見ながら、蛇口の開き具合を調節してください。	—
	ため水から給水するとき： ★最大自吸高さを超えている	最大自吸高さ内にする。	15
	給水ホースが折れている、押しつぶされている	給水ホースをまっすぐにして、水が通るようにする。	—
	ホースや本体内に空気が入っている（エアロック）	本体、ホース、ノズルなど本機内部から水を抜き接続からやり直す。	
	★ノズルが目詰まりしている	ノズルクリーニングピンでノズルを清掃する。	19
	ワンタッチカップリングの接続が不十分である	ワンタッチカップリングをカップリング（本体側）に、合わせ目のすき間がなくなるまでしっかりさし込む。	—
	カップリング（本体側）のフィルターが目詰まりしている	フィルターを清掃してください。	20
	バッテリー残量がとても少ない	充電する。	11
トリガー安全ロックのロックボタンが動かない	トリガーが途中で止まっている（戻りきっていない）	トリガーを手で引き出してからロックボタンを押す。	—
水圧が低いまたは一定でない	★ノズルが目詰まりしている	ノズルクリーニングピンでノズルの清掃をする。	19
	カップリング（本体側）のフィルター付きパッキンまたはストレーナーが目詰まりしている	カップリング（本体側）、ストレーナーを清掃をする。	20
	各部が正しく接続されていない	正しく接続する。また、接続部にゴミがはさまっている場合は取り除く。	14、15
	ガン、ロングランス、ホースが破損し水もれしている	お客様では修理せずに、本誌裏表紙に記載の「工進修理受付窓口」へ点検をご依頼ください。	—
	本体（ポンプ）から水もれしている		
	お湯を使用している	給水許容温度を守る。	23
	水道蛇口から給水するとき： 水道蛇口を開き足りない（給水量が少ない）	水道蛇口を徐々に開く。 ただし、開きすぎると給水ホースや本体に異常な振動が発生し、故障の原因となります。様子を見ながら、蛇口の開き具合を調節してください。	—
	ため水から給水するとき： ため水（バケツなど）の水面からストレーナーおよび給水ホースが浮いている	ストレーナーおよび給水ホースを水中に沈める。	15
使用中に本体（ポンプ）から水もれする	お客様では修理せずに、本誌裏表紙に記載の「工進修理受付窓口」へ点検をご依頼ください。		—

主な仕様

主な仕様

基本情報	機種名		SJC-1820	SJC-18N
	製品名		充電式洗浄機ガンタイプ	
	用途		車、家まわりの洗浄	
	使用可能液 ※ ¹		水道水	
	使用可能洗剤 ※ ²		中性洗剤	
	給水許容温度		5 ～ 50 ℃	
	使用想定		週 1 回、1 回あたり約 14 分の使用	
	防水性能		IPX3	
寸法、重量	本体サイズ	全幅×奥行×全高	365 × 90 × 262 mm	
	給水ホース	長さ	6 m	
	乾燥重量 ※ ³		2.4 kg	
洗浄機	最大吐出水量		120 L/h	
	常用圧力	扇状ノズル	2.2 MPa	
		回転ノズル	2.1 MPa	
	★定格使用時間 ※ ⁴	扇状ノズル	約 13 分	
		回転ノズル	約 14 分	
	最大自吸高さ		1 m	
	消費電力		200 W	
動力	騒音値		74 dB	
	モーター		ブラシモーター	
	定格電圧		DC 18 V	

バッテリー

機種	PA-332
製品	18V バッテリー (2.0 Ah)
種類	リチウムイオンバッテリー
★充電時間 ※ ⁵	約 60 分

★部分は【PA-332】18V バッテリー (2.0 Ah) (標準付属) を使用した場合の数値です。
【PA-380】18V バッテリー (2.5 Ah) を使用した場合は以下になります。
定格使用時間：
扇状ノズル…約 16 分、回転ノズル…約 17 分
充電時間：約 75 分

充電器

機種名	PA-430
製品名	18V 急速充電器 II
入力電圧 ※ ⁶	AC 100 V
入力周波数	50 - 60 Hz
入力電力	50 W
出力電圧	DC 21.5 V
出力電流	DC 2.0 A
使用環境温度	5 ～ 40 ℃

- ※¹ 使用可能液以外は使用しないでください。
使用不可液体例：雨水、井戸水、海水、農薬、消毒液、灯油、有機溶剤 など
- ※² ・水道水で希釈して使用してください（詳細は 18 ページ参照）
・使用可能洗剤以外は使用しないでください。
使用不可洗剤例：石けん、クレンザー（みがき粉）、酸性 / アルカリ性洗剤、塩素系カビ取り剤 など
- ※³ バッテリーなど付属品含む。
- ※⁴ 気温など、使用状況により異なります。
- ※⁵ 気温やバッテリーの充電残量などにより異なります。特に長期保管後は長くなる事があります。
- ※⁶ 昇圧器などのトランス類を使用したり、直流電源やエンジン発電機では使用したりしないでください。

保証書

機 種	充電式洗浄機ガンタイプ SJC-1820/SJC-18N	※お買い上げ日	年 月 日
保 証 期 間	お買い上げより 1 年間	※	〒
お 客 様	※お名前	購 入 店	住所
	※ご住所		氏名
	電話 ()		電話 ()

※に記入のない場合は無効になりますので必ずご確認ください。

この保証書は本書に明記した期間、条件のもとにおいて、
下記記載内容で無料修理をお約束するものです。
保証期間経過後の修理等について、ご不明の場合は、
下記の「工進修理受付窓口」へご相談ください。

株式会社 **工進**

京都府長岡京市神足上八ノ坪 12

保証期間内に取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書きにしたがった正常なご使用状態で故障した場合には、本記載内容に基づき無料修理いたします。お買い上げ日から保証期間内に故障した場合は、商品と本書をお持ちいただき下記の「工進修理受付窓口」へ修理をご依頼ください。

- 保証期間内でも次のような場合は有料修理となります。
 - 〈イ〉 使用上の誤り、改造、不当な修理、工進指定の純正パーツ以外を使用したことによる故障または損傷。
 - 〈ロ〉 お買い上げ後の落下、運送等による故障または損傷。
 - 〈ハ〉 火災・地震・水害・落雷・その他天災地変、公害、指定外の使用電源（電圧、周波数）等による故障または損傷。
 - 家庭用以外（例えば業務用など）に使用された場合の故障または損傷。
 - 〈ホ〉 本書のご提示がない場合。
 - 〈ヘ〉 本書にお買い上げ年月日、お客様名、購入店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
 - 〈ト〉 付属品、消耗品は有料修理となります。（バッテリー、Oリング、各種パッキンなど）
 - 〈チ〉 車両、船舶などに搭載された場合に生ずる故障または損傷。
- 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
 - この商品は持込修理に限らせていただきます。出張修理はいたしません。
 - 本書は日本国内についてのみ有効です。
 - 保証期間経過後の修理などは、下記の「工進修理受付窓口」へご相談ください。
 - 本機が使用できなかったことによる不便さおよび損失など（電話代、レンタカー代、宿泊代、交通費、休業補償、営業損失など）は補償いたしかねます。

お問い合わせ相談窓口

お問い合わせの際は、
型式※、お買い上げ年月日、
故障状況などをお知らせください。

※ **型式** について
本体または梱包箱への
貼付ラベルに記載しています。



■ 製品・パーツの販売についてのお問い合わせは……
購入店またはお近くの弊社製品取扱店にご相談ください。

■ 製品の修理に関するお問い合わせは……工進修理受付窓口へ

電話 **0120-987-386** 平日: 9:00~17:00
会社休業日・土日祝祭日を除く。受付時間に変更がある場合は、弊社ホームページにてご案内します。

■ 製品に関するお問い合わせは……お客様相談窓口へ

Eメール pump@koshin-ltd.co.jp Eメール用
二次元コード

電話 **0120-075-540** 平日: 9:00~17:00
会社休業日・土日祝祭日を除く。受付時間に変更がある場合は、弊社ホームページにてご案内します。